

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	24310	電話	042(769)8243
担当部課名	環境保全部	公園	課	整備 班
事務事業名	街区公園の再整備事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	美しいまちなみと良好な居住環境を創造します	事業開始年度
基本施策名	第3節	身近な生活圏のみどり・公園の整備	14年度
施策名	第1施策	身近な公園の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

都市公園法

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
昭和50年以前に整備された概ね0.1ha以上の街区公園のなかから、機能、防犯面等を考慮し早期に整備が必要な公園を再整備し、快適で利便性の高い都市環境を確保し、有効で多目的な活用を市民に提供する。また、市民参加の手法を取り入れながら再整備することにより、市民参加意識の高揚と浸透を図り、今後の公園整備事業の土台づくりとする。	街区公園誘致圏内の住民
	対象数 2500
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
村富公園再整備工事 園路広場(砂舗装、I.L.B舗装、縁石等)、修景施設(樹木等)、休養施設(野外卓、ベンチ)、遊戯施設(複合遊具、ヒコーキジャングル、鉄棒等)、便益施設(水飲み)、管理施設(車止め、園内灯等) 面積 = 960㎡ 整備工事費 16,390,500円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	当該年度のワークショップ方式による再整備率	ワークショップ方式による再整備街区公園数/当該年度の再整備街区公園数×100	当該年度にワークショップ方式により再整備された街区公園の再整備率を示す	0	0	100	0	0
	街区公園の再整備率	全再整備街区公園数/再整備必要街区公園数×100	街区公園の再整備率を示す	0	0	6	6	6

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費			16,390		
人員・時間数			0.15人		
人件費			1,258		
その他経費					
合計	0	0	17,648	0	0
特定財源					
対象数			1		
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	17,648.0	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	早急に整備が必要な街区公園の再整備をワークショップ方式により行うことが出来た。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 市民の意見を重視した再整備を行うことが出来た。市が所有管理している街区公園の再整備であり、市が事業を行うことが妥当である。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	ワークショップ方式による再整備により、管理運営委員会も発足し、より地域に親しみやすい公園となった。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない ワークショップを行うのに時間がかかるが、地域の意見を反映することが出来、完成後の利用度も高い。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	街区公園は近隣住民が誰でも利用できる施設であり、また、ワークショップの周知は、自治会だけでなく、公民館や駅などにもお知らせを掲示しており、公平性は妥当である。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	説明: 財政状況等から、ワークショップで出された要望・意見を全て整備内容に盛り込むことはできないが、より多く反映できるよう検討する余地がある。	手段	みどりの協会、みどり対策課で行っている市民植樹用の苗を利用し、整備費の削減を図る。
<input type="checkbox"/> ない		削減額	300 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
		他市の再整備街区公園状況 厚木市 再整備公園 19公園(ワークショップは行っていない) 大和市 再整備公園 0公園、平成15年度再整備予定1公園(14年度ワークショップを行っている) 座間市 再整備公園 0公園
今後の進め方		総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	継続	
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	平成11年度までに12公園の再整備を行っている。平成12年度以降再整備必要公園は16箇所あるが、財政状況等から整備済みは1箇所にとどまっている。
<input type="checkbox"/>	廃止	平成15年度から開始された街美化アダプト制度(里親制度)により、自治会等による積極的な維持管理が行われている。その中で対象公園の魅力づくりを進めるとともに、全面的な再整備にあたっては、これらの団体を活用したワークショップによる計画案づくりを行っていく。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--